

第3章 第8期計画の実施状況及び評価、課題等

1 介護保険サービス等の状況

介護保険サービスの利用者は、計画に対して居宅サービスが7～8割程度、施設・居住系サービスはほぼ計画どおりに推移しております。

表3-1-1 介護保険サービス利用状況

(単位：人/月、%)

区 分	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	利用者数 (月平均)	利用割合	利用者数 (月平均)	利用割合	利用者数 (月平均)	利用割合
計 画 A	326	100.0	337	100.0	348	100.0
居 宅	215	66.0	226	67.4	237	68.1
施設・居住系	111	34.0	111	32.6	111	31.9
実 績 B	295	100.0	287	100.0	289	100.0
居 宅	179	60.7	175	58.8	181	62.6
施設・居住系	116	39.3	112	41.2	108	37.4
進捗率 B/A	90.5		85.2		83.0	
居 宅	83.3		77.4		76.4	
施設・居住系	104.5		100.9		97.3	

(注) 令和5年度は6月までの3カ月間の平均

居宅サービスの利用を見ると、軽度に区分される要支援1・2、要介護1・2の利用が全体の8割を占めています。居住系サービスであるグループホームの利用は、要介護1～5全体で利用されています。要介護3より重度になると施設サービスの利用が多く見られます。

要介護認定を受けているがサービスを利用していない人は全体で11.8%となっていますが、軽度者であるため継続的なサービスの利用には至らない人や、入院加療中により介護サービスの利用に至っていない人も見られます。

表3-1-2 要介護度別介護保険サービス利用状況（総合事業利用分を含む）

(単位：人、%)

区 分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計	
								利用者数	サービス別割合
居宅サービス	46	27	63	35	11	15	5	202	59.6
割 合	22.8	13.4	31.2	17.3	5.4	7.4	2.5	100.0	
居住系サービス	0	0	4	3	4	0	2	13	3.8
割 合	0.0	0.0	30.8	23.0	30.8	0.0	15.4	100.0	
施設サービス	0	0	8	5	15	29	27	84	24.8
割 合	0.0	0.0	9.5	6.0	17.9	34.5	32.1	100.0	
サービス未利用者	17	5	5	3	1	0	9	40	11.8
割 合	42.5	12.5	12.5	7.5	2.5	0.0	22.5	100.0	
合 計	63	32	80	46	31	44	43	339	100.0
割 合	18.6	9.4	23.6	13.6	9.1	13.0	12.7	100.0	

(注) 令和5年4月利用分

介護保険サービスの給付状況は、次表のとおりです。

第8期計画期間中は、コロナ禍の影響により令和4年度の保険給付額の合計が計画よりも下回っています。

特に地域密着型サービス給付費（グループホーム）や施設サービス給付費については、施設でのクラスターが発生したりするなど利用にも影響があり大幅に減となっております。

また、介護事業所における介護職員不足による定員割れなども保険給付費の減につながっています。

介護予防サービス費給付については大幅に増加しています。これは近隣市町で新たにサービス提供を開始した事業所ができたためです。

表3-1-3 介護保険サービスの給付状況

(単位：千円、%)

区 分	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	計 画	実 績	進捗率	計 画	実 績	進捗率	計 画	見 込	進捗率
居宅サービス給付	127,517	142,244	111.5	128,274	132,827	103.5	129,371	142,739	110.3
地域密着型サービス給付	87,557	75,782	86.6	87,606	72,005	82.2	87,606	75,577	86.3
施設サービス給付	271,306	267,709	98.7	271,456	252,025	92.8	271,456	263,142	96.9
老人福祉施設	223,748	218,801	97.8	223,872	203,457	90.9	223,872	210,547	94.0
老人保健施設	36,675	45,345	123.6	36,695	44,790	122.1	36,695	46,455	126.6
療養型医療施設	10,883	3,563	32.7	10,889	3,615	33.2	10,889	3,560	32.7
介護医療院	0	0	0.0	0	163	-	0	2,580	-
居宅介護支援費給付	20,715	20,099	97.0	20,863	20,084	96.3	21,524	19,837	92.2
特定福祉用具購入	654	743	113.6	654	569	87.0	654	760	116.2
住宅改修費給付	703	1,152	163.9	703	701	99.7	703	1,425	202.7
介護予防サービス給付	4,856	9,584	197.4	4,918	10,078	204.9	4,978	11,099	223.0
地域密着型介護予防サービス給付	0	0	0.0	0	0	0.0	0	501	-
介護予防支援費給付	1,967	2,855	145.1	2,077	2,687	129.4	2,186	2,771	126.8
特定介護予防福祉用具購入	290	454	156.6	290	402	138.6	290	475	163.8
介護予防住宅改修費給付	1,559	378	24.2	1,559	961	61.6	1,559	1,330	85.3
高額介護等給付	11,764	13,875	117.9	12,118	12,798	105.6	12,513	13,357	106.7
高額合算介護等給付費	1,736	2,704	155.8	1,795	2,830	157.7	1,854	2,755	148.6
審査支払手数料	363	430	118.5	375	420	112.0	387	428	110.6
特定入所者等給付	30,454	30,197	99.2	29,313	26,729	91.2	30,270	29,012	95.8
保険給付額合計	561,441	568,206	101.2	562,001	535,116	95.2	565,351	565,208	100.0
月平均給付額	46,787	47,351		46,833	44,593		47,113	47,101	
地域支援事業費	25,194	23,268	92.4	24,927	21,213	85.1	25,197	21,055	83.6
介護予防事業費	13,461	12,250	91.0	13,461	10,257	76.2	13,461	10,916	81.1
包括的支援・任意事業費	11,733	11,018	93.9	11,466	10,956	95.6	11,736	10,139	86.4

所得段階別の第1号被保険者数の状況は、第1段階から第5段階までが全体の約6割、課税層の第6段階から第9段階は約4割程度となっています。

表3-1-4 所得段階別の第1号被保険者数の状況

(単位：人、%)

区 分	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	計画	実績		計画	実績		計画	実績	
			割合			割合			割合
第1段階 (生活保護受給者、 世帯全員が住民税非課税)	318	271	14.5	316	271	14.6	317	293	15.8
第2段階 (世帯全員が住民税非課税 合計所得+年金収入120万円以下)	201	211	11.2	200	196	10.5	200	210	11.3
第3段階 (世帯全員が住民税非課税 合計所得+年金収入120万円超)	158	172	9.2	157	152	8.1	157	168	9.0
第4段階 (本人が住民税非課税 合計所得+年金収入80万円以下)	225	223	11.9	224	211	11.4	224	199	10.7
第5段階 (本人が住民税非課税 合計所得+年金収入80万円超)	284	271	14.5	283	259	13.9	283	250	13.4
第6段階 (住民税課税で所得125万円未満)	292	313	16.7	290	310	16.7	290	297	16.0
第7段階 (住民税課税で所得200万円未満)	200	238	12.7	199	234	12.6	200	219	11.8
第8段階 (住民税課税で所得290万円未満)	97	95	5.0	96	120	6.5	96	115	6.2
第9段階 (住民税課税で所得290万円以上)	95	80	4.3	94	105	5.7	94	107	5.8
合 計	1,870	1,874	100.0	1,859	1,858	100.0	1,861	1,858	100.0

(注) 令和5年度は当初賦課時の状況

(1) 居宅サービスの状況

ここでは、介護保険事業における居宅サービスの利用の現状について把握し、サービス給付に対する評価及び課題の整理をします。令和5年度については6月までの実績を踏まえて見込んでいます。

①訪問介護

訪問介護員（ホームヘルパー）が家庭を訪問し、食事・入浴・排泄の介助や、掃除・洗濯・炊事など日常生活の手助けを行います。

実績についてはコロナ禍の影響もあり、前回計画時の実績を下回っている状況となっております。

表3-1-5 訪問介護利用状況

(単位：回/年、%)

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度（見込）
計 画	10,860	10,860	10,860
実 績	5,812	5,590	5,552
進 捗 率	53.5	51.5	51.1

②訪問入浴介護

寝たきり高齢者などの家庭を入浴設備や簡易浴槽を積んだ移動入浴車で訪問し、浴槽を提供して入浴の介助を行います。また、看護師などが健康チェックも行います。

本町には訪問入浴介護に対応できる事業所がないため、北見市の事業所を利用しています。心身の状況により外出が困難な重度者の定期的な利用により、実績が計画を上回りました。

表 3-1-6 訪問入浴介護利用状況

(単位：回／年、%)

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度（見込）
計 画	137	137	137
実 績	186	155	156
進 捗 率	135.8	113.1	113.9

③訪問看護

訪問看護ステーションや病院の看護師等が家庭を訪問し、主治医と連絡をとりながら、療養上の世話や診療の補助などを行います。

表 3-1-7 訪問看護利用状況

(単位：回／年、%)

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度（見込）
計 画	2,232	2,251	2,251
実 績	1,681	1,810	1,696
進 捗 率	75.3	80.4	75.3

④訪問リハビリテーション

病院や介護老人保健施設等の理学療法士や作業療法士などが家庭を訪問し、日常生活の自立を助けるためのリハビリテーションを行います。

本町には訪問リハビリテーションに対応できる事業所がありませんが、北見市の事業所によるサービスを利用しています。

表 3-1-8 訪問リハビリテーション利用状況

(単位：回／年、%)

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度（見込）
計 画	475	485	485
実 績	183	181	208
進 捗 率	38.5	37.3	42.9

⑤居宅療養管理指導

医師、歯科医師、薬剤師等が、通院が困難な利用者の家庭を訪問し、医学的な管

理指導を行います。

本町には居宅療養管理指導に対応できる事業所はありませんが、北見市の事業所を利用しています。

表 3-1-9 居宅療養管理指導利用状況 (単位：回／年、%)

区 分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度 (見込)
計 画	36	36	36
実 績	91	47	52
進 捗 率	252.8	130.6	144.4

⑥通所介護

デイサービスセンターなどに通い、食事・排泄・入浴の介護や、日常動作訓練・レクリエーションなどが受けられます。

訪問介護と並び、在宅生活の維持継続を支援するための中心的なサービスとして、居宅サービスに占める利用割合が高くなっています。

表 3-1-10 通所介護利用状況 (単位：回／年、%)

区 分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度 (見込)
計 画	5,083	5,119	5,222
実 績	4,415	3,737	3,720
進 捗 率	86.9	73.0	71.2

⑦通所リハビリテーション

医療施設や介護老人保健施設などに通い、理学療法士や作業療法士によるリハビリテーションが受けられます。

本町には通所リハビリテーションに対応できる事業所はありませんが、北見市の事業所による利用が増えています。

表 3-1-11 通所リハビリテーション利用状況 (単位：回／年、%)

区 分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度 (見込)
計 画	371	371	371
実 績	1,088	962	1,100
進 捗 率	293.3	259.3	296.5

⑧短期入所生活介護

介護老人福祉施設などに短期間入所し、介護や日常生活上の世話、機能訓練などが受けられます。

利用者の心身の状況や家族の病気や冠婚葬祭等のため、又は家族の負担軽減を図るためのサービスとして利用者が増えています。

表 3-1-12 短期入所生活介護利用状況

(単位：日／年、%)

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度(見込)
計 画	2,681	2,681	2,681
実 績	3,093	2,549	3,280
進 捗 率	115.4	95.1	122.3

⑨短期入所療養介護

介護老人保健施設や医療施設などに短期間入所し、看護・医学的管理下で介護や機能訓練などが受けられます。

本町には短期入所療養介護に対応できる事業所がないため北見市の事業所を利用していますが、サービスの利用者は増加しています。

表 3-1-13 短期入所療養介護利用状況

(単位：日／年、%)

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度(見込)
計 画	148	150	150
実 績	208	251	396
進 捗 率	140.5	167.3	264.0

⑩特定施設入居者生活介護

国が定めた介護保険法の基準(人員・設備・運営)を満たすものとして事業指定を受けた特定施設(有料老人ホームや養護老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、軽費老人ホーム)に入居している高齢者が、介護や日常生活上の世話、機能訓練などを受け、施設で能力に応じた自立した生活ができるようにするものです。

本町には該当施設がないため近隣市町の施設を利用していますが、利用者は増加しています。

表 3-1-14 特定施設入居者生活介護利用状況

(単位：人／月、%)

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度(見込)
計 画	3	3	3
実 績	8	10	10
進 捗 率	266.7	333.3	333.3

⑪福祉用具貸与

車いす(付属品含む)、特殊寝台(付属品含む)、床ずれ防止用具、体位変換器、手すり、スロープ、歩行器、歩行補助つえ、認知症高齢者徘徊感知機器、移動用リフトなどの福祉用具が借りられます。

車いすや特殊寝台(付属品含む)、及び歩行器の貸与が多く利用されています。

表 3-1-15 福祉用具貸与利用状況

(単位：人／年、%)

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度(見込)
計 画	984	1,008	1,032
実 績	913	940	964
進 捗 率	92.8	93.3	93.4

⑫特定福祉用具購入

排泄や入浴に使われる腰掛便座、入浴補助用具、特殊尿器、簡易浴槽などの購入費を支給します。(支給限度基準額は年間10万円)

購入品目では、入浴補助用具、腰掛便座の購入がほとんどです。

表 3-1-16 特定福祉用具購入利用状況

(単位：人／年、%)

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度(見込)
計 画	12	12	12
実 績	16	17	20
進 捗 率	133.3	141.7	166.7

(2) 地域密着型サービスの状況

事業所の指定や指導監督等を市町村が直接行うことにより、地域の実情にあった適切な整備を行うことができます。サービスを利用できるのは、原則として事業所を指定した市町村の被保険者のみとなります。

ここでは、介護保険事業における地域密着型サービスの利用の現状について把握し、サービス給付に対する評価及び課題の整理をします。

①定期巡回・随時対応型訪問介護看護

訪問介護員又は訪問看護師が要介護者の自宅を定期巡回訪問または随時連絡を受けて訪問し、日中・夜間を通して食事・入浴など随時の支援を行います。

本町にはサービス事業所はありませんが、住所地特例の人が転居先の居住地で利用されています。

表 3-1-17 定期巡回・随時対応型訪問介護看護利用状況

(単位：回／年、%)

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度(見込)
計 画	0	0	0
実 績	730	730	732
進 捗 率	—	—	—

②夜間対応型訪問介護

夜間の定期的な巡回訪問や随時の通報により訪問介護員等が要介護者の自宅を訪問し、食事・入浴など日常生活の手助けを行います。

本町にはサービス事業所がなく、利用実績もありませんでした。

表 3-1-18 夜間対応型訪問介護利用状況

(単位：回／年、%)

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度(見込)
計 画	0	0	0
実 績	0	0	0
進 捗 率	—	—	—

③認知症対応型通所介護

認知症の高齢者がデイサービスセンターなどに通い、食事や排泄、入浴の介護や日常動作訓練、レクリエーションなどの専門的な支援を受けられます。

本町にはサービス事業所はありませんが、住所地特例の人が転居先の居住地で利用されています。

表 3-1-19 認知症対応型通所介護利用状況

(単位：回／年、%)

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度(見込)
計 画	97	97	97
実 績	0	0	200
進 捗 率	—	—	206.2

④小規模多機能型居宅介護

あらかじめ登録された利用者に対して、「通い」のサービスを中心に利用者の状態や希望に応じて随時訪問や宿泊を組み合わせて支援を行います。

本町にはサービス事業所がなく、利用実績もありませんでした。

表 3-1-20 小規模多機能型居宅介護利用状況

(単位：人／年、%)

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度(見込)
計 画	0	0	0
実 績	0	0	0
進 捗 率	—	—	—

⑤認知症対応型共同生活介護(グループホーム)

認知症の高齢者が1ユニット5～9人で共同生活し、家庭的な雰囲気の中で、介護スタッフによる食事・入浴・排泄など日常生活の支援や機能訓練などを受けられます。

本町では「グループホームはるる」が対象事業所となります。

表 3-1-21 認知症対応型共同生活介護利用状況

(単位：人／月、%)

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度(見込)
計 画	18	18	18
実 績	18	17	17
進 捗 率	100.0	94.4	94.4

(注) 認知症対応型共同生活介護には、住所地特例制度が適用されません。

⑥地域密着型特定施設入居者生活介護

国が定めた介護保険法の基準（人員・設備・運営）を満たすものとして事業指定を受けた特定施設（有料老人ホーム、養護老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、軽費老人ホーム）のうち、定員が29人以下の施設に入居している人が、介護や日常生活上の世話、機能訓練などを受けられるサービスです。

本町にはサービス事業所がなく、利用実績もありませんでした。

表 3-1-22 地域密着型特定施設入居者生活介護利用状況 (単位：人/月、%)

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度（見込）
計 画	0	0	0
実 績	0	0	0
進 捗 率	—	—	—

⑦地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

原則要介護度3以上の要介護者を対象とした定員29人以下の介護老人福祉施設に入居している人が、介護や日常生活上の世話、機能訓練などを受けられるサービスです。

本町にはサービス事業所がなく、利用実績もありませんでした。

表 3-1-23 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護利用状況 (単位：人/月、%)

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度（見込）
計 画	0	0	0
実 績	0	0	0
進 捗 率	—	—	—

⑧看護小規模多機能型居宅介護

医療ニーズの高い要介護者に対応するため、小規模多機能型居宅介護のサービスに加え、必要に応じて訪問看護を組み合わせたサービスが受けられます。

本町にはサービス事業所がなく、利用実績もありませんでした。

表 3-1-24 看護小規模多機能型居宅介護利用状況 (単位：人/月、%)

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度（見込）
計 画	0	0	0
実 績	0	0	0
進 捗 率	—	—	—

⑨地域密着型通所介護

利用定員が18名以下の小規模デイサービスセンターに通い、食事・入浴の提供や日常動作訓練・レクリエーションなどが受けられます。

本町では「デイサービスはるる」と「もりの風ポプラ」が対象事業所になります。

表 3-1-25 地域密着型通所介護利用状況 (単位：回/年、%)

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度（見込）
計 画	3,454	3,454	3,454
実 績	2,298	2,027	2,100
進 捗 率	66.5	58.7	60.8

(3) 住宅改修

在宅の要介護者が家庭での手すりの設置や、段差の解消などを行った時に改修の費用を支給します（支給限度基準額は1住宅につき20万円）。

改修内容では、手すりの取付け、段差の解消が多くなっています。改修内容によっては、支給限度基準額の範囲を超える規模の改修も見られますが、支給限度基準額を超える人については、在宅福祉事業の高齢者等健やか住宅改造費助成事業を併用して改修を行っております。

表 3-1-26 住宅改修利用状況

(単位：人/年、%)

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度(見込)
計 画	12	12	12
実 績	17	10	20
進 捗 率	141.7	83.3	166.7

(4) 居宅介護支援（ケアプランの作成）

町内には社会福祉協議会が運営する事業所があり、居宅サービス利用者のケアプランを作成しています。町内事業所だけでは提供量が足りず、町外事業所による作成も行っている状況となっています。

表 3-1-27 ケアプラン作成状況

(単位：件/年、%)

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度(見込)
計 画	1,500	1,512	1,560
実 績	1,436	1,424	1,440
進 捗 率	95.7	94.2	92.3

(5) 介護保険施設サービスの状況

ここでは、介護保険事業の施設サービスにおける利用の現状について把握し、サービス給付に対する評価及び課題の整理をします。令和5年度については6月までの状況や過去の実績を踏まえて見込んでいます。

①介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

身体上・精神上著しい障害があるため常時介護が必要で、自宅での介護が困難な高齢者が入所します。食事・入浴・排泄など日常生活の介助、機能訓練・健康管理などが受けられます。

町内には社会福祉法人訓子府福祉会が運営する「くんねっふ静寿園」があり、利用者については当該施設への入所が大部分を占めます。「くんねっふ静寿園」の入所待機者は令和5年5月末現在で21人です。

表 3-1-28 介護老人福祉施設の利用状況

(単位：人／月、%)

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度(見込)
計 画	75	75	75
実 績	73	70	68
進 捗 率	97.3	93.3	90.7

表 3-1-29 くねっふ静寿園入所待機状況内訳 (単位：人)

入 所 待 機 状 況	人 数
自宅療養・在宅介護(ケアハウス含む)	9
医療機関に入院中(介護療養型含む)	2
他の介護老人福祉施設入所中	2
介護老人保健施設入所中	2
グループホーム	3
その他(障がい者施設、高齢者住宅等)	3
合 計	21

(注) 令和5年5月末現在

②介護老人保健施設(老人保健施設)

病状が安定し、在宅復帰に向けてリハビリに重点を置いた支援が必要な高齢者が入所します。医学的管理下での看護、機能訓練、日常生活の介助などが受けられます。

本町には該当施設がないため近隣市町の施設を利用しており、実績は計画を上回っています。

表 3-1-30 介護老人保健施設の利用状況

(単位：人／月、%)

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度(見込)
計 画	11	11	11
実 績	14	14	12
進 捗 率	127.3	127.3	109.1

③介護療養型医療施設・介護医療院

急性期の治療が終わり、長期の療養を必要とする高齢者のための医療機関の病床です。医学的管理下で療養上の管理、看護などが受けられます。

本町には該当施設がないため、他市町の施設を利用しています。

表 3-1-31 介護療養型医療施設・介護療養院の利用状況

(単位：人／月、%)

区 分	令和3年度		令和4年度		令和5年度(見込)	
	介護療養型	医療院	介護療養型	医療院	介護療養型	医療院
計 画	3	0	3	0	3	0
実 績	1	0	1	0	2	1
進 捗 率	33.3	—	33.3	—	66.7	—

(6) 介護予防サービスの状況

要支援1・2の人が利用するサービスで、生活機能の維持向上又は改善を目的とするものです。

ここでは、介護保険事業の介護予防サービスにおける利用の現状について把握し、サービス給付に対する評価及び課題の整理をします。令和5年度については6月までの状況や過去の実績を踏まえて見込んでいます。

①介護予防訪問入浴介護

介護予防を目的に、高齢者などの家庭を、入浴設備や簡易浴槽を積んだ移動入浴車で訪問し、浴槽を提供して入浴の介助を行います。また、看護師などが健康チェックも行います。

本町には対応できる事業者がなく、また、軽度者の利用実績はありませんでした。

表3-1-32 介護予防訪問入浴介護利用状況 (単位：回/年、%)

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度(見込)
計 画	0	0	0
実 績	0	0	0
進 捗 率	-	-	-

②介護予防訪問看護

訪問看護ステーションや病院の看護師等が家庭を訪問し、介護予防を目的に、主治医と連絡をとりながら一定期間療養上の世話や診療の補助などを行います。サービス利用は増加しています。

表3-1-33 介護予防訪問看護利用状況 (単位：回/年、%)

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度(見込)
計 画	96	96	96
実 績	159	193	252
進 捗 率	165.6	201.0	262.5

③介護予防訪問リハビリテーション

介護予防を目的に、病院や介護老人保健施設等の理学療法士や作業療法士などが家庭を訪問し、日常生活の自立を助けるためのリハビリテーションを一定期間行います。

本町にはこのサービスに対応できる事業所はありませんが、北見市の事業所が本町でのサービス提供を行っており、一定の利用実績に結び付いています。

表3-1-34 介護予防訪問リハビリテーション利用状況 (単位：回/年、%)

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度(見込)
計 画	72	72	72
実 績	191	89	88
進 捗 率	265.3	123.6	122.2

④介護予防居宅療養管理指導

医師、歯科医師、薬剤師等が、通院が困難な利用者の家庭を訪問し、療養の管理指導を行います。

本町にはサービス事業所はありませんが、住所地特例の人が転居先の居住地で利用されています。

表 3-1-35 介護予防居宅療養管理指導利用状況 (単位：回／年、%)

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度(見込)
計 画 (回／年)	12	12	12
実 績 (回／年)	0	0	20
進 捗 率 (%)	0	0	166.7

⑤介護予防通所リハビリテーション

介護予防を目的に、医療施設や介護老人保健施設などに通い、理学療法士や作業療法士によるリハビリテーションが一定期間受けられます。

本町には通所リハビリテーションに対応できる事業所はありませんが、北見市の事業所による利用が増え、計画を大きく上回っています。

表 3-1-36 介護予防通所リハビリテーション利用状況 (単位：回／年、%)

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度(見込)
計 画	24	24	24
実 績	271	504	824
進 捗 率	1129.2	2100.0	3433.3

⑥介護予防短期入所生活介護

介護老人福祉施設などに短期間入所し、介護や日常生活上の世話、必要な機能訓練などが受けられます。

利用者の心身の機能維持や家族の負担軽減を図るためのサービスとして介護者が不在となる期間での利用が増えています。

表 3-1-37 介護予防短期入所生活介護利用状況 (単位：日／年、%)

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度(見込)
計 画	60	60	60
実 績	48	57	204
進 捗 率	80.0	95.0	340.0

⑦介護予防短期入所療養介護

介護老人保健施設や医療施設などに短期間入所し、看護や医学的管理の下における介護、機能訓練などが受けられます。

本町には対応できる事業者がなく、北見市の施設を利用していますが、期間中、本町での利用はありませんでした。

表 3-1-38 介護予防短期入所療養介護利用状況 (単位：日／年、%)

区 分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度 (見込)
計 画	0	0	0
実 績	0	0	0
進 捗 率	—	—	—

⑧介護予防特定施設入居者生活介護

有料老人ホームなどの特定施設に入居している要支援者が、介護や日常生活上の世話、機能訓練などを受けられます。

本町には該当施設がないため、近隣市町の施設を利用しています。

表 3-1-39 介護予防特定施設入居者生活介護利用状況 (単位：人／月、%)

区 分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度 (見込)
計 画	1	1	1
実 績	1	1	1
進 捗 率	100.0	100.0	100.0

⑨介護予防福祉用具貸与

手すり、スロープ、歩行器、歩行補助つえなどの福祉用具が借りられます。

表 3-1-40 介護予防福祉用具貸与利用状況 (単位：人／年、%)

区 分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度 (見込)
計 画	396	408	420
実 績	546	467	428
進 捗 率	137.9	114.5	101.9

⑩特定介護予防福祉用具購入

福祉用具のうち、排泄や入浴に使われる腰掛便座、入浴補助用具、特殊尿器、簡易浴槽などの購入費を支給します（支給限度基準額は年間 10 万円）。

主に入浴補助用具を購入される人が多くなっています。

表 3-1-41 特定介護予防福祉用具購入利用状況 (単位：人／年、%)

区 分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度 (見込)
計 画	12	12	12
実 績	13	12	12
進 捗 率	108.3	100.0	100.0

(7) 地域密着型介護予防サービスの状況

地域密着型サービスのうち、要支援1・2の人が利用するサービスです。

ここでは、介護保険事業の地域密着型介護予防サービスにおける利用の現状について把握し、サービス給付に対する評価及び課題の整理をします。令和5年度については6月までの状況や過去の実績を踏まえて見込んでいます。

①介護予防認知症対応型通所介護

認知症の高齢者がデイサービスセンターなどに通い、介護予防を目的に、食事、排泄、入浴の介護や日常動作訓練、レクリエーションなどが受けられます。

本町には対応できる事業所はありませんが、住所地特例の人が転居先の居住地で利用されています。

表3-1-42 介護予防認知症対応型通所介護利用状況 (単位：回/年、%)

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度(見込)
計 画	0	0	0
実 績	0	0	46
進 捗 率	—	—	—

②介護予防小規模多機能型居宅介護

介護予防を目的に、「通い」のサービスを中心として、状態や希望に応じた随時訪問や宿泊を組み合わせた支援を受けられます。

本町にはサービス事業所がないため、利用実績はありませんでした。

表3-1-43 介護予防小規模多機能型居宅介護利用状況 (単位：人/年、%)

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度(見込)
計 画	0	0	0
実 績	0	0	0
進 捗 率	—	—	—

③介護予防認知症対応型共同生活介護(グループホーム)

認知症の高齢者が1ユニット5～9人で共同生活し、家庭的な雰囲気の中で、介護スタッフによる食事・入浴・排泄など日常生活の支援や機能訓練などを受けられます。要支援者では要支援2の人が利用できます。

期間中、本町での利用はありませんでした。

表3-1-44 介護予防認知症対応型共同生活介護利用状況 (単位：人/月、%)

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度(見込)
計 画	0	0	0
実 績	0	0	0
進 捗 率	—	—	—

(注) 介護予防認知症対応型共同生活介護には、住所地特例制度が適用されません。

(8) 介護予防住宅改修

家庭での手すりの設置や、段差の解消などの改修の費用を支給します（支給限度基準額は1住宅につき20万円）。

改修内容では、手すりの取付け、段差の解消が多くなっています。要介護者よりも生活範囲が広いため、支給限度基準額の範囲を超える規模の改修も見られますが、支給限度基準額を超える人については、在宅福祉事業の高齢者等健やか住宅改造費助成事業を併用して改修を行っています。

表3-1-45 介護予防住宅改修利用状況

(単位：人/年、%)

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度（見込）
計 画	12	12	12
実 績	10	17	16
進 捗 率	83.3	141.7	133.3

(9) 介護予防支援（ケアプランの作成）

要支援1・2の人のケアプランは、地域包括支援センターで作成していますが、介護予防サービスを利用する人が増加しているため、作成についても実績件数が計画を上回っています。

表3-1-46 介護予防ケアプラン作成状況

(単位：件/年、%)

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度（見込）
計 画	432	456	480
実 績	623	593	628
進 捗 率	144.2	130.0	130.8

2 地域支援事業の状況

地域支援事業は、高齢者が要介護状態又は要支援状態となることを予防し、社会に参加しつつ、地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援することを目的とし、介護予防・生活支援サービス事業、包括的支援事業、任意事業の3事業を実施しています。令和5年度については、6月末までの実績を踏まえ見込んでいます。

(1) 介護予防・日常生活支援総合事業

高齢者の介護予防と自立した日常生活支援を目的とした事業で「介護予防・生活支援サービス事業」と「一般介護予防事業」の二つからなります。

①介護予防・生活支援サービス事業

要介護認定で要支援認定の人又は、基本チェックリストの結果、事業対象者となった人に対し、「訪問型サービス」「通所型サービス」「その他の生活支援サービス」を行います。

ア. 訪問型サービス

(ア) 訪問介護相当（専門職が提供）

介護予防を目的として、介護福祉士、訪問介護員（ホームヘルパー）などの専門職によって日常生活上の支援を行うサービスです。

表3-2-1 訪問型サービス（訪問介護相当）利用状況 (単位：人/年、%)

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度（見込）
計画	132	132	132
実績	145	143	145
進捗率	109.8	108.3	109.8

イ. 通所型サービス

要支援者等に対し、機能訓練や集いの場などの日常生活上の支援を提供します。

(ア) 通所介護相当（専門職が提供）

通所介護施設で、食事や入浴などの生活支援と軽体操などを日帰りで行います。利用数減少としては、新型コロナウイルス感染拡大による通所控えや北見市内の介護予防通所リハビリを実施する事業所が利用できることになったことが一因と考えられます。

表 3-2-2 通所型サービス利用状況（通所介護相当）

（単位：人／年、％）

区 分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度（見込）
計 画	504	504	504
実 績	414	315	300
進捗率	82.1	62.5	59.5

（イ）通所型サービス C（短期集中予防サービス）

保健・医療の専門職が在宅や地域での生活環境を踏まえ、閉じこもりや運動機能の維持向上を目的とした短期間（週 1 回約 3 カ月間）の通所と訪問による短期集中予防サービスを実施する事業です。

教室終了後も引き続き介護予防の取り組みが継続できるようフォローアップ支援を行いました。

表 3-2-3 通所型サービス（通所型サービス C）利用状況

（単位：回、人／年、％）

区 分	令和 3 年度			令和 4 年度			令和 5 年度		
	計 画	実 績	進捗率	計 画	実 績	進捗率	計 画	見 込	進捗率
実施回数	36	34	94.4	36	36	100.0	36	36	100.0
参加延人数	130	120	92.3	130	133	102.3	130	130	100.0

ウ. その他の生活支援サービス

日常生活で支援が必要な高齢者が地域で安心して生活できるように、有償ボランティアによる生活支援サービスを実施します。

表 3-2-4 生活支援サポーター派遣事業実施状況

（人／年）

区 分	令和 3 年度		令和 4 年度		令和 5 年度	
	計 画	実 績	計 画	実 績	計 画	見 込
利用実人数	3	1	4	1	5	3
利用延人数	11		23		40	

エ. 介護予防ケアマネジメント

介護予防ケアマネジメントは、要支援者等の自立支援を目的として、その心身の状態、その他の状況に応じて、訪問型サービス、通所型サービス、その他の生活支援サービス等が包括的かつ効率的に提供されるよう専門的視点から必要な支援を行いました。総合事業のみの利用者は減少し、他のサービスが必要な利用者が増加しています。（表 3-1-46 参照）

表 3-2-5 介護予防ケアマネジメント実施状況

(単位：件/年)

区 分	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	計 画	実 績	進捗率	計 画	実 績	進捗率	計 画	見 込	進捗率
実施件数	480	265	55.2	480	215	44.7	480	240	50.0

②一般介護予防事業

地域において、自主的に行われている介護予防活動を育成・支援し、高齢者がいきいきと活動できるよう、高齢者を支える人も含めて対象とします。介護予防に資する活動の育成・支援を行います。

ア. 介護予防把握事業

地域の実情に応じて収集した情報等の活用により、閉じこもり等の何らかの支援を有する人を把握し、介護予防活動へつなげる事業です。

高齢者宅の訪問や医療機関及び薬局等の関係機関との連携・協力を通じて、何らかの支援を必要とする人を把握し、適切な支援につなげるための取り組みを進めました。

イ. 介護予防普及啓発事業

介護予防に資するため、パンフレット等を活用した基本的な知識の普及啓発や介護予防に関する講座を開催する事業です。広報記事や地域包括支援センター便り「あいあい」の発行、健康相談や講話等において、健康寿命の延伸や介護（フレイル）予防の大切さなどの普及啓発を図りました。

令和4年度はコロナ禍が明け老人クラブ活動も再開したところも多かったため、依頼も多く開催回数も増えましたが、令和5年度は通常通りとなったため令和3年度とほぼ同じ回数・参加人数の見込みとなっております。

表 3-2-6 介護予防普及啓発事業実施状況

(単位：回、人、%)

区 分		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		計画	実績	進捗率	計画	実績	進捗率	計画	見込	進捗率
老人クラブ	開催回数	22	11	50.0	22	13	59.1	22	10	45.5
	参加延人数	200	132	66.0	200	163	81.5	200	100	50.0
その他	開催回数	10	2	20.0	10	7	70.0	10	5	50.0
	参加延人数	100	77	77.0	100	105	100.5	100	80	80.0

(注) その他～町内会・サークル等への単発支援、地域のいいね！発表会

ウ. 地域介護予防活動支援事業

住民の主体的な地域活動組織などへの介護予防に対する取り組みの紹介や、介護（フレイル）予防に資するボランティア等の人材育成の研修等を通じて、地域にお

ける自発的な介護予防に資する活動の育成・支援を行いました。

令和3年度から「健活★くんねっぷ出前講座」として保健師・歯科衛生士・管理栄養士を派遣し地域での活動継続に向けての側面的な支援を行いました。

表3-2-7 地域介護予防活動支援事業実施状況

(単位：回、人、%)

区 分		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		計画	実績	進捗率	計画	実績	進捗率	計画	見込	進捗率
地域活動組織 支援	開催回数	10	8	80.0	10	3	30.0	10	3	30.0
	参加延人数	200	113	56.5	230	60	26.1	230	60	26.1
ささえあいサポ ーター養成講座	開催回数	2	2	100.0	2	2	100.0	2	2	100.0
	養成者数	20	58	290.0	20	32	160.0	20	20	100.0
いきいき百歳体 操実施支援(リハ ビリ専門職以外)	開催回数	10	2	20.0	10	9	90.0	10	10	100.0
	参加延人数	100	18	18.0	100	88	88.0	100	100	100.0
専門職スキル アップ支援	開催回数	2	3	150.0	2	4	200.0	2	2	100.0
	参加延人数	40	54	135.0	40	54	135.0	40	40	100.0

エ. 一般介護予防事業評価事業

年度ごとに、事業評価指標を基に事業評価を行う事業です。年度ごとの事業評価指標を設け事業評価を実施し、介護予防事業を効果的かつ継続的に実施できるよう取り組みました。

オ. 地域リハビリテーション活動支援事業

地域における介護予防の取り組みを機能強化するために、通所型サービス、訪問支援、地域ケア会議、住民運営の通いの場等においてリハビリテーション専門職等と連携し助言を行うなど総合的な支援を行いました。

表3-2-8 地域リハビリテーション活動支援事業実施状況

(単位：回、人、%)

区 分		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		計画	実績	進捗率	計画	実績	進捗率	計画	見込	進捗率
リハビリ評価支 援事業	開催日数	4	4	100.0	4	4	100.0	4	4	100.0
	利用延人数	20	11	55.0	20	17	85.0	20	16	80.0
地域ケア会議(個 別ケース検討会)	開催回数	6	1	16.7	6	2	33.3	2	2	100.0
	利用延人数	6	4	66.7	6	8	133.3	6	8	133.3
サービス担当者 会議(通所型サー ビスC)	開催回数	6	6	100.0	6	6	100.0	6	6	100.0
	利用延人数	24	23	95.8	24	23	95.8	24	24	100.0
いきいき百歳体 操実施支援(リハ ビリ専門職)	開催回数	10	10	100.0	10	9	90.0	10	10	100.0
	利用延人数	100	98	98.0	100	83	83.0	100	85	85.0

(2) 包括的支援事業

①包括的支援事業（地域包括支援センター運営）

高齢者が住み慣れた地域でその人らしい生活を継続できるようにするためには、できるだけ要介護状態にならないような予防対策や、高齢者個々の状況やその変化に応じて、介護サービスや医療サービスをはじめとするさまざまな支援が継続的かつ包括的に提供されることが必要とされています。

ア. 総合相談支援事業

地域包括支援センターが相談窓口となり、高齢者や家族、民生委員児童委員等の地域の関係機関からの相談に対して、介護や福祉サービスの利用、医療や日常生活に関することなど、相談内容に応じて必要なサービスや機関、制度につながるよう支援を行っています。

地域の保健・医療・福祉の関係者や民生委員児童委員、老人クラブなどのさまざまな関係者とのネットワークを通じて実態把握を行いました。

表 3-2-9 総合相談支援事業実施状況

(単位：件、%)

区 分	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	計画	実績	進捗率	計画	実績	進捗率	計画	見込	進捗率
相談件数	200	242	121.0	200	324	162.0	200	300	150.0

イ. 権利擁護事業

高齢者に対する虐待の防止や早期発見、成年後見制度を活用した高齢者の権利擁護についての相談や情報提供等を行います。令和4年4月から北見地域成年後見中核センターが訓子府町を含む1市2町で設置しました。一次相談窓口である訓子府町社会福祉協議会と情報交換を行いました。

表 3-2-10 権利擁護事業実施状況

(単位：件)

区 分	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	計画	実績	進捗率	計画	実績	進捗率	計画	見込	進捗率
相談件数	1	7	700.0	1	7	700.0	1	7	700.0

ウ. 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

高齢者の生活を包括的・継続的に支えるためには、保健・医療・福祉サービスだけでなく、地域のさまざまな資源を活用しながら、必要な支援が提供されるよう地域における高齢者の支援ネットワークの構築が必要となります。

多様な個別課題やニーズを抱えたケースへの対応や地域課題の発掘を目的に、介護支援専門員をはじめとする関係者が支援の方向性を共有し、自立支援や重度化防

止に資する支援が図られるよう個別ケース検討会議を開催しました。また、町内関係機関と認知症や専門職の連携などの地域課題を共有することを目的にケア検討部会を開催しました。

表 3-2-11 地域ケア会議実施状況

(単位：回、%)

区 分	令和3年度			令和4年度			令和5年度			
	計画	実績	進捗率	計画	実績	進捗率	計画	見込	進捗率	
地域ケア会議 (本体会議)	1	1	100.0	1	1	100.0	1	1	100.0	
個別ケース 検討会議	40	44	110.0	40	40	100.0	40	40	100.0	
(再掲)	困難事例	10	9	90.0	10	10	100.0	10	12	120.0
	自立支援	10	10	100.0	10	8	80.0	10	8	80.0
	事例紹介	20	25	125.0	20	22	110.0	20	20	100.0
サービス調整部会	50	50	100.0	50	43	86.0	50	45	90.0	
ケア検討部会	4	3	75.0	4	2	50.0	4	2	50.0	
高齢者虐待防止 ネットワーク部会 (令和4年度より 権利擁護部会)	1	1	100.0	1	3	300.0	1	2	200.0	

※令和3年度 地域ケア会議（本体会議）書面開催

②包括的支援事業（社会保障充実）

平成26年の介護保険法改正により次の4事業が位置づけられており、これらの事業を推進しながら、地域包括支援センターとしての機能を強化しています。

ア. 在宅医療・介護連携推進事業

北見保健所及び北見保健所管内の1市4町（北見市・美幌町・津別町・訓子府町・置戸町）と連携し、「入退院連絡窓口一覧」の作成を実施しました。

医療と介護の多職種連携として、北見保健所が中心となり「北見地域多職種連携チーム」として、在宅医療の普及啓発に関すること、課題や対策について検討しました。

訓子府町内の介護職員の学びの機会として、令和3・4年度は食事介助の実技指導、講演会を開催しました。

イ. 生活支援体制整備事業

高齢者の介護予防・生活支援サービスの体制整備を推進していくことを目的として、訓子府町生活支援サービスの充実に係る体制の整備を推進しました。社会福祉協議会に生活支援コーディネーターを委託し、生活支援サポーター派遣事業を実施し担い手、介護予防となる取り組みを実施しました。

介護予防・生活支援サービスの体制の構築に向けた協議体を町が設置し、住民を主体としたささえあいが推進される取り組みを検討しました。

表 3-2-12 協議体等実施状況

(単位：回、人)

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度(見込)	
協議体	例 会	開催回数	4	10	11
		参加延人数	29	90	90
	地域活動	開催回数	2	1	1
		参加延人数	76	45	50
ささえあい講演会	開催回数	1	1	1	
	参加人数	27	51	50	

ウ. 認知症総合支援事業

(ア) 認知症初期集中支援推進事業

認知症が疑われる人、認知症の症状の悪化が見られる当事者や家族に対し、北見赤十字病院認知症サポート医の指導の下、北見赤十字病院の認知症看護認定看護師、地域包括支援センターの保健師等の訪問支援やチーム員会議などを開催し、認知症の人や家族の生活をサポートしました。

表 3-2-13 認知症初期集中支援チーム実施状況

(単位：人、%)

区 分	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	計画	実績	進捗率	計画	実績	進捗率	計画	見込	進捗率
利用実人数	3	3	100.0	3	2	66.7	3	3	100.0

(イ) 認知症地域支援・ケア向上事業

認知症の人に対し、その状態に応じた適切なサービスが提供されるよう、医療機関、介護サービス事業所や地域の支援機関のネットワークを構築し、認知症の人やその家族を支援する相談業務等を行います。平成30年度から地域包括支援センターに兼務で配置された「認知症地域支援推進員」を中心とし、認知症に関する相談業務、関係機関との連携を図り、認知症に対する理解を深め、温かく見守ることができる地域づくりを目指し、認知症の人とその家族への支援、地域における認知症の正しい知識の普及啓発を図りました。

介護家族の介護負担やストレス解消の場、認知症の人の居場所や地域住民の認知症の理解を深める場として、認知症カフェを定期開催しました。相談支援体制の整備等を図るため、町内事業所の職員や令和4年度からは北見赤十字病院の認知症看護認定看護師の派遣を委託し開催しました。

表 3-2-14 認知症カフェ実施状況 (単位：回、人、%)

区 分	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	計画	実績	進捗率	計画	実績	進捗率	計画	見込	進捗率
開催数	12	9	75.0	12	13	108.3	12	12	100.0
参加実人数	15	14	93.3	15	21	140.0	15	20	133.3
参加延人数	50	47	94.0	50	62	124.0	50	50	100.0

エ. 地域ケア会議推進事業

保険者として包括的・継続的にケアマネジメント業務の効率的な実施のために地域ケア会議の設置が義務づけられました。

(3) 任意事業

① 家族介護支援事業

要介護高齢者等を介護する家族が安心して在宅介護が継続できるよう、介護者家族等の相談に応じ、介護者の介護状況や健康状態、介護負担、介護サービスへの要望等のニーズの把握に努め、介護者家族への支援をしています。

ア. 家族介護用品購入費助成事業

寝たきり又は認知症高齢者等を介護している家族に対し、経済的な負担の軽減を図るため、紙おむつ等の介護用品購入費の助成を行いました。令和3年度より、対象者を町民税非課税であるものを介助する同居家族と変更になりました。

(年間助成限度額…48,000円)

表 3-2-15 家族介護用品購入費助成事業実施状況 (単位：件、%、円)

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度(見込)
利用件数	計 画	10	10	10
	実 績	7	5	4
	進捗率	70.0	50.0	40.0
助 成 額	計 画	480,000	480,000	480,000
	実 績	195,666	131,294	120,000
	進捗率	40.8	27.4	25.0

イ. 認知症高齢者見守り事業

認知症に対する理解を深め、認知症の人とその家族を温かく見守ることができる地域づくりを目指し、認知症の人とその家族への支援と、地域における認知症の正しい知識の普及啓発を図るため、「認知症サポーター養成講座」及びその講師役であるキャラバンメイトの人材確保に努めました。

表 3-2-16 認知症キャラバンメイト・サポーター養成講座実施状況 (単位: 人、回、%)

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込)
キャラバンメイト数		8	8	10
認知症 サポーター 養成講座	実施数	計 画	5	5
		実 績	5	7
		進捗率	100.0	140.0
	延人数	計 画	50	50
		実 績	89	183
		進捗率	178.0	366.0

表 3-2-17 認知症高齢者等 SOS ネットワーク連絡会議等実施状況 (単位: 回、%)

区 分	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	計画	実績	進捗率	計画	実績	進捗率	計画	見込	進捗率
開催数	1	1	100.0	1	1	100.0	1	1	100.0

表 3-2-18 高齢者等見守り位置探索 (GPS) サービス助成事業利用状況 (単位: 件)

区 分	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	計画	実績	進捗率	計画	実績	進捗率	計画	見込	進捗率
利用件数	2	2	100.0	2	0	0	2	2	100.0

②その他の事業

ア. 成年後見制度利用支援事業

成年後見制度の利用にあたり必要となる費用を負担することが困難で、町長が成年後見等開始審判申し立てを行う必要がある高齢者等に対し、審判請求に要する経費や成年後見人等の報酬を助成します。

令和5年度は1件の利用がある見込みです。

表 3-2-19 成年後見制度利用支援事業実施状況 (単位: 件、%)

区 分	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	計画	実績	進捗率	計画	実績	進捗率	計画	見込	進捗率
利用件数	1	0	0.0	1	0	0.0	1	1	100.0

3 在宅福祉事業の状況

介護保険以外の在宅福祉事業は、在宅福祉事業実施要綱などに基つき実施しています。令和5年度については6月末の実績を踏まえて見込んでいます。

(1) 高齢者等の生活支援事業

①移送サービス

歩行が困難な高齢者等に対し、病院へ通院するためにタクシーを利用して送迎するサービスを、(有)訓子府ハイヤーに委託して行っています。

(利用料…町内医療機関への送迎は2km以内1回100円・2km以上1回300円、
町外医療機関への送迎は1回1,220円)

利用者数に大きな増減はありませんが、利用回数は施設入所や入退院等により増減しています。

表3-3-1 移送サービス利用状況

(単位：人、回、%)

区 分	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	計画	実績	進捗率	計画	実績	進捗率	計画	見込	進捗率
利用者数	33	37	111.2	33	37	112.1	33	38	115.2
利用回数	250	319	127.6	250	378	151.2	250	400	160.0

(注) 利用者数は登録者数

②愛の声かけ訪問

在宅でひとり暮らしをしている高齢者に対し、安否の確認のため町内会地区のみ(日出地区を除く)毎週3回、年末年始を除き訪問することとし、その業務を乳酸菌飲料会社に委託しています。また、訪問の際には乳酸菌飲料を手渡しで配付しています。(利用料…無料)

利用者数に大きな増減はありませんが、利用回数は施設入所や入退院等により増減しています。

表3-3-2 愛の声かけ訪問利用状況

(単位：人、回、%)

区 分	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	計画	実績	進捗率	計画	実績	進捗率	計画	見込	進捗率
利用者数	20	16	80.0	21	15	71.4	17	17	100.0
利用回数	2,800	2,154	76.9	2,900	2,051	70.7	3,000	2,300	100.0

(注) 利用者数は登録者数

③訪問サービス

ひとり暮らしの高齢者や日中話し相手のいない高齢者で、病弱等のため近隣とのコミュニケーションが困難な人に対し、安否の確認と孤独感の解消のため定期的に訪問するサービスを、訓子府町老人クラブ連合会に委託して行っています。

(利用料…無料)

心身の状態から外出の機会が限られていても、地域とのつながりが継続されるよう、委託先である訓子府町老人クラブ連合会とのさらなる連携が必要です。

表 3-3-3 訪問サービス利用状況

(単位：人、回、%)

区 分	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	計画	実績	進捗率	計画	実績	進捗率	計画	見込	進捗率
利用者数	1	0	0.0	1	3	300.0	2	2	100.0
利用回数	25	0	0.0	25	14	56.0	50	48	96.0

(注) 利用者数は登録者数

④除雪サービス

ひとり暮らしの高齢者や高齢者世帯で、病弱等のため除雪ができない人に対して、玄関から公道までの緊急避難路の除雪を、町内の除雪業者に委託して行っています。

(利用料…町民税課税世帯は3,000円、町民税非課税世帯は1,000円)

利用回数はその年の降雪日数により増減しています。

表 3-3-4 除雪サービス利用状況

(単位：人、回、%)

区 分	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	計画	実績	進捗率	計画	実績	進捗率	計画	見込	進捗率
利用者数	50	57	114.0	51	55	107.8	52	50	96.2
利用回数	400	274	68.5	408	137	33.6	416	400	96.2

(注) 利用者数は登録者数

(2) 介護予防活動支援事業

①ホームヘルプサービス

介護保険の要介護認定外の人で、一時的に日常生活を営むのが困難な高齢者に対し、訪問介護員（ホームヘルパー）が日常生活の支援を行うサービスや、身体機能の維持を目的とした支援を要する要介護認定者等の在宅での歩行訓練を対象としたサービスを、社会福祉法人訓子府町社会福祉協議会に委託しています。

(利用料…1回1時間の利用につき280円、1時間を超える場合は30分につき140円、町民税課税世帯・非課税世帯同じ利用料金とし、介護予防訪問介護とほぼ同額に設定)

表 3-3-5 ホームヘルプサービス利用状況

(単位:人、回、%)

区 分	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	計画	実績	進捗率	計画	実績	進捗率	計画	見込	進捗率
利用者数	1	0	0.0	1	1	100.0	1	1	100.0
利用回数	90	0	0.0	90	91	101.1	90	90	100.0

(注) 利用者数は登録者数

②ショートステイ

日常生活を営むのに支障のある高齢者で、家族が旅行や冠婚葬祭等の理由で不在となり、一時的に支援を必要とする人に対し、一時的な宿泊により、日常生活上の支援や、体調維持に対する支援を行っており、その業務を社会福祉法人訓子府福祉会と置戸町緑清園に委託しています。

(利用料…町民税課税世帯1回2,500円、町民税非課税世帯1回1,800円)

表 3-3-6 ショートステイ利用状況

(単位:人、日、%)

区 分	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	計画	実績	進捗率	計画	実績	進捗率	計画	見込	進捗率
利用者数	26	34	130.8	26	31	119.2	26	31	119.2
利用日数	100	91	91.0	100	67	67.0	100	120	120.0

(注) 利用者数は登録者数

③配食サービス

ひとり暮らしの高齢者や高齢者世帯で食事の調理が困難な人に対し、安否の確認を兼ねて毎週3回栄養バランスのとれた夕食の調理・配達を、特定非営利活動法人福祉サポートきらきら本舗に委託しています。(利用料…1回300円)

利用者数に大きな増減はありませんが、利用回数は施設入所や入退院等により増減しています。

表 3-3-7 配食サービス利用状況

(単位:人、回、%)

区 分	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	計画	実績	進捗率	計画	実績	進捗率	計画	見込	進捗率
利用者数	29	38	131.0	30	36	120.0	31	33	106.5
利用回数	3,350	3,059	91.3	3,500	3,462	98.9	3,650	3,960	108.5

(注) 利用者数は登録者数

(3) その他の在宅福祉事業

①災害弱者緊急通報装置設置事業

ひとり暮らしの高齢者等で病弱な人や身体が不自由な人に、急病などの緊急時に電話やペンダントのボタンを押すだけで、コールセンターを通じて消防へ通報する装置（ペンダント式発信器、火災センサー、煙センサー、ガスセンサー）の貸出を無償で行っています。（利用料…無料）

設置台数は、新規設置もありますが、死亡や施設入所等により撤去する台数が多かったことから減少しています。

表 3-3-8 災害弱者緊急通報装置設置状況（実績のみ）（単位：台、回）

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度
設 置 台 数		25	26	22
正 報	通報数	4	6	1
	出動数	4	6	1
誤 報	通報数	4	3	0
	出動数	0	0	0
電池切れ等の通報		0	0	0

(注) 令和5年度については6月末現在

※設置台数は年度内の最多設置台数

②高齢者等健やか住宅改造費助成事業

2級以上の身体障害者手帳を所持する障がいのある人や日常生活に介助を要する高齢者がいる世帯に対し、身体状況に対応する住宅改造に費用の半額を助成しています。（助成限度額…18万円）

介護保険の要介護認定者については、介護保険給付の支給限度基準を超える部分について助成します。

なお、改造の対象となる工種は介護保険で対象となるものとしています。

表 3-3-9 高齢者等健やか住宅改造費助成状況（実績のみ）（単位：人、円）

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
申請者数（人）	2	1	2
助成額（円）	262,360	175,000	38,700

(注) 令和5年度については6月末現在

4 施設（介護保険施設以外）サービス等の状況

介護保険以外の施設サービスは、利用者の心身の状態に応じて次のようなものがあります。

(1) 養護老人ホーム

本町には養護老人ホームはありませんが、北見市と置戸町の施設に1人ずつ入所しています。

表3-4-1 養護老人ホームの入所状況 (単位：人、%)

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	2	2	2
利用者数	1	2	2
進捗率	50.0	100.0	100.0

(注) 各年度3月末現在 (令和5年度については6月末現在)

(2) ケアハウス（軽費老人ホーム）

本町には、平成10年12月に開設した社会福祉法人訓子府福祉会が運営する軽費老人ホーム「ケアハウスほなみ」があります。

また、住所地特例の人が居住地のケアハウスに入所しているケースもあります。

表3-4-2 ケアハウスほなみ入所状況 (単位：人、%)

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計画	17	17	17
利用者数	17	15	15
進捗率	100.0	88.2	88.2

(注) 各年度3月末現在 (令和5年度については7月末現在)

表3-4-3 町外ケアハウス入所状況 (実績のみ) (単位：人)

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数	8	7	7

(注) 各年度3月末現在 (令和5年度については6月末現在)

5 その他関係団体の高齢者サービス等の状況

(1) ボランティアセンター事業

訓子府町におけるボランティア活動推進の拠点として、効果的に活動が展開されるように、ボランティア活動を実践する人とボランティアを必要とする人との仲介を通して地域福祉活動の推進を図ることを目的に、平成 21 年 7 月からスタートしました。

社会福祉法人訓子府町社会福祉協議会が事務局となり会員登録制で運営し、ボランティア活動を行いたい人は「登録申請書」を、ボランティアの協力を受けたい人は「利用申請書」を提出し、その申請内容に基づきボランティアを調整し派遣します。また、地域におけるボランティア実践者のために、さまざまな研修会や講習会を実施します。

表 3-5-1 ボランティアセンター事業登録会員の状況 (単位：組、人)

区 分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
団 体	2	2	2
個 人	39	37	36

(注) 各年度 3 月末現在 (令和 5 年度については 6 月末現在)

表 3-5-2 ボランティアセンター事業の実績 (単位：件、回)

内 容		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
話し相手	申請数	3	2	1
	内対応数	3	2	1
	延派遣回数	39	37	0
外出介助	申請数	0	0	0
	内対応数	0	0	0
	延派遣回数	0	0	0
軽運動 (ふまねっと)	申請数	0	0	1
	内対応数	0	0	1
	延派遣回数	0	0	1
住宅清掃	申請数	1	2	0
	内対応数	1	2	0
	延派遣回数	1	2	0
各団体支援	申請数	3	3	1
	内対応数	3	3	3
	延派遣回数	3	9	3
その他	申請数	0	0	0
	内対応数	0	0	0
	延派遣回数	0	0	0

(注) 各年度 3 月末現在 (令和 5 年度については 6 月末現在)

(2) ふれあい昼食会

在宅の70歳以上のひとり暮らしの高齢者を対象に、昼食を取りながら参加者との交流を深め、より充実した生活を支援することを目的として、社会福祉法人訓子府町社会福祉協議会が昼食会協力員の協力を得て月1回実施しています。訪問介護員（ホームヘルパー）の派遣先にも同じ献立のお弁当を配食しています。

表3-5-3 給食サービスの実績 (単位：人)

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
参加延人数	52	279	134

(注) 令和3・4年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により、飲食を伴わない「ふれあいサロン」として実施。令和5年度については6月末現在。

(3) 声かけ郵便事業

在宅の70歳以上のひとり暮らしの高齢者を対象に、町内の小学生から高校生、ボランティアが手紙を差し上げ、また、郵便配達員による声かけにより安否を確認することを目的として、社会福祉法人訓子府町社会福祉協議会が実施しています。

表3-5-4 声かけ郵便事業の実績 (単位：人、通)

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
発 送 延 数	1,384	1,460	188

(注) 令和5年度については6月末現在

6 保健事業の状況

生活習慣病予防や介護予防等の健康づくりを目的として、20歳以上の人を対象として各種保健事業を実施しています。

(1) 健康教育

集団健康教育

集団健康教育として、個人に合った運動の習得を目的に、健康運動指導士による運動教室を実施しています。また、町民の自主グループ等への栄養や健康増進に関する健康教育を実施しています。

表3-6-1 集団健康教育の実績 (単位：回/年、人、%)

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込)
計 画	実 施 回 数	20	25	32
	65歳以上延被指導者数	250	300	210
実 績	実 施 回 数	27	32	32
	65歳以上延被指導者数	224	250	210
進 捗 率	実 施 回 数	135.0	128.0	100.0
	65歳以上延被指導者数	89.6	83.3	100.0

(注) 健康増進事業補助金資料より

(2) 健康相談

①総合健康相談

心身の健康に関する健康相談として、一般健康相談、健康診査の結果説明会を実施しています。また、食生活や運動などの生活習慣を見直すことで発症を予防するとともに、重症化を防ぐため、総合健康相談を実施しています。

表3-6-2 総合健康相談の実績 (単位：回/年、人、%)

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込)
計 画	65歳以上延被指導者数	200	250	270
実 績	65歳以上延被指導者数	150	270	270
進 捗 率	65歳以上延被指導者数	75.0	108.0	100.0

(注) 延被指導者数～特定健康診査の結果説明会来所者数

②重点健康相談

口腔機能の低下が身体状況に与える影響など介護予防の視点からも、日常における口腔ケアの充実を図るため、健康診査結果説明会で歯科衛生士による歯科相談を実施しています。また、簡易血液検査を活用し、継続的な保健指導を実施しています。

表 3-6-3 重点健康相談の実績

(単位：回／年、人、%)

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込)
計 画	実 施 回 数	25	25	36
	延被指導者数	150	150	190
実 績	実 施 回 数	28	36	36
	延被指導者数	140	110	80
進捗率	実 施 回 数	112.0	144.0	100.0
	延被指導者数	93.3	73.3	42.1

(注) 延被指導者数～結果説明会時の歯科相談受診者数、病態別健康相談（簡易血液検査）
健康増進事業補助金資料より

(3) 健康診査・特定保健指導

国民健康保険加入者で、40歳から74歳になる人を対象に、国民健康保険特定健康診査を実施しています。後期高齢者医療制度加入者についても、継続して特定健康診査と同じ検査項目で実施しています。

また、特定保健指導として生活習慣病のリスクが高い人へ個人の状況に合わせた保健指導を行っています。主に生活習慣改善に関する支援として、個人の運動機能や食生活等についての振り返りを行い、生活習慣病予防、さらには要介護状態への予防に向けた支援を行っています。

表 3-6-4 特定健康診査の受診率・特定保健指導実施率

(単位：人、%)

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込)	
特定健康診査の 対象者(40~74歳)	計 画	1,199	1,168	1,139	
	実 績	1,135	1,274	1,211	
	受診数	計 画	623	631	681
		実 績	534	569	670
	受診率	計 画	52.0	54.0	60.0
		実 績	47.0	44.7	55.3
進捗率		90.4	82.7	92.2	
特定保健指導の 対象者(40~74歳)	計 画	100	101	109	
	実 績	96	88	109	
	実施数	計 画	57	59	65
		実 績	41	51	65
	実施率	計 画	57.0	58.4	60.0
		実 績	42.7	58.4	60.0
進捗率		74.9	100.0	100.0	

- (注) 1 特定保健指導～特定健康診査の結果から生活習慣病の発症リスクの高い人に対し、保健師・管理栄養士より行われる保健指導
 2 特定保健指導の対象者～年度途中の後期高齢者医療への移行者を含む
 3 特定保健指導の実施数～終了者数
 4 R3 法定報告 R4 暫定値

表 3-6-5 後期高齢者健康診査の受診率

(単位：人、%)

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込)
後期高齢者健康診査の対象者数	945	953	1,068
後期高齢者健康診査の受診者数	114	142	165
後期高齢者健康診査の受診率	12.1	14.9	15.4

(注) 令和3・4年度 後期高齢者健診受診率 北海道後期高齢者広域連合確定値

(4) 後期高齢者歯科健康診査

高齢者の歯周疾患の予防を目的として、後期高齢者医療保険に加入している人を対象に歯科健康診査を実施しています。

表 3-6-6 後期高齢者歯科健康診査の受診者数

(単位：人)

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込)
後期高齢者歯科健康診査の受診者数	8	5	5

(5) がん検診

早期発見、早期治療が可能ながんによる死亡を減らすため、がん検診を実施しています。本町では胃がん・肺がん・大腸がん・前立腺がん・子宮がん・乳がん検診を実施しています。

表 3-6-7 胃・肺・大腸・子宮・乳・前立腺がん検診の受診者数 (単位：人)

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込)
胃 がん	受診者数	386	389	510
肺 がん	受診者数	514	563	630
大腸がん	受診者数	540	561	630
子宮がん	受診者数	137	102	165
乳 がん	受診者数	157	141	155
前立腺がん	受診者数	139	148	200

(注) 胃・肺・大腸・子宮・乳がんについては地域保健事業報告の数値 (40歳以上の受診者数)

(6) 高齢者インフルエンザ、成人用肺炎球菌予防接種事業

65歳以上の高齢者と、60歳以上65歳未満の人で心臓や腎臓、呼吸器に重い疾病のある人を対象に、医療機関でのインフルエンザ予防接種費用の一部を助成しています。

成人用肺炎球菌ワクチン接種では、年度内に65歳になる人を対象に接種費用の一部を助成しています。

また、年度内に70歳・75歳・80歳・85歳・90歳・95歳・100歳以上になる人で、未接種の人にも5年間(令和元年度～令和5年度)の経過措置が延長されました。

表 3-6-8 高齢者インフルエンザ予防接種実施状況 (単位：人、%)

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込)
接 種 者 数	1,002	1,040	1,062

表 3-6-9 成人用肺炎球菌予防接種実施状況 (単位：人、%)

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込)
対 象 者 数	197	238	225
接 種 者 数	57	52	81
接 種 率	28.9	21.8	36.0

(7) 主要死因の概要

全国を100として地域の死亡率を表す標準化死亡比(SMR)は下表のとおりです。平成22年から令和元年の10年間の本町の標準化死亡比は、男性で肺がん、腎不全、慢性閉塞性肺疾患、女性では胆嚢がん、大腸がんが全国平均に比べ特に高い状況です。

表3-6-10 標準化死亡比(平成22年～令和元年の累計) (単位:%)

区 分	性 別	訓子府町	北見保健所	北海道
食 道 が ん	男	36.3	89.8	106.7
	女	0.0		111.6
胃 が ん	男	91.4	88.3	97.4
	女	73.7		97.0
大 腸 が ん	男	83.7	117.2	106.2
	女	106.4		111.6
肝 臓 が ん	男	71.0	88.4	95.4
	女	118.3		91.4
胆 嚢 が ん	男	106.2	110.3	113.9
	女	201.0		112.0
膵 臓 が ん	男	63.0	120.5	121.9
	女	66.1		127.3
肺 が ん	男	136.7	108.9	117.4
	女	98.6		125.4
乳 が ん	女	70.3	107.2	109.5
子 宮 が ん	女	59.6	118.4	101.5
腎 不 全	男	107.0	112.5	126.2
	女	85.9		130.3
肺 炎	男	79.4	88.7	98.6
	女	92.9		95.5
虚血性心疾患	男	47.0	80.3	81.6
	女	98.0		83.5
交 通 事 故	男	159.4	100.1	96.1
	女	0		89.8
不慮の事故 (交通事故除く)	男	89.6	89.2	86.6
	女	125.7		81.4
自 殺	男	83.3	114.7	105.5
	女	92.2		100.2
悪性新生物	男	100.2	105.0	108.3
	女	89.2		110.5
心 疾 患	男	80.4	91.9	98.8
	女	71.9		101.2
脳 血 管 疾 患	男	87.0	93.2	93.8
	女	89.0		90.4
慢性閉塞性肺疾患	男	107.9	97.0	91.4
	女	0.0		94.4
老 衰	男	70.5	94.9	73.3
	女	45.0		94.7

(注) 出典：北海道における主要死因の概要 10～財団法人北海道健康づくり財団 (R2.12)